

平成 24 年度 第 4 回 浜松がん薬物療法セミナー 第 2 部 パネルディスカッション質問一覧

1. 5-HT3 受容体拮抗型制吐剤の使い分けについて教えてください。(ナゼア カイトリル セロトーン シンセロン)
2. アリミデックスとフェマラーの使い分けはありますか？副作用対策・効果判定の結果で アリミデックス→フェマラーはありましたが、最近、初回フェマラーが増えました。
3. 乳がん OPE 後 8 年経過、ホルモン療法終了し、現在 3 か月に一度の経過観察中の方。最近、自家製豆乳を健康のために毎日摂取されています。大豆食品の乳がん発症リスク低下の証拠はないと「患者さんのための乳がんガイドライン」にはありますが、乳がん患者の豆乳摂取についてはアドバイスが必要でしょうか。糖尿病の合併症もあるため、オーバーカロリーと肥満に気をつければ、何を食べてもいいという観点から 豆乳摂取は問題なしでよいでしょうか。
4. エチニルエストラジオール（プロセキソール）をホルモン感受性乳がんを使用するのはどのような治療目的でしょうか。
5. ザンドスタチンを「進行・再発癌患者の緩和医療における消化管閉塞に伴う消化器症状の改善」に使用される場合は、どのような薬理作用なのでしょうか。
6. 肝機能、腎機能に関して、それぞれの障害で減量などの記載があるが、実際どの程度で薬剤の用量などの変更を検討するか。添付文書に記載があるもの以外でも気を付けている品目などはありますか？調剤薬局でチェックすべき品目などあれば教えていただきたいです。
7. 肝腎機能同様に、副作用と思われる症状があった場合に、副作用がどの程度で減量～休薬するか等の判断の仕方がよくわかりません。実臨床で注意している点があれば教えていただきたいです。
8. 内服薬では休薬期間が必要な品目について、実際どのような方法で休薬～服薬のチェックをされているか？以前、ティーエスワンが処方されている患者様で、血算により服用方法をかえて治療するというケースがありました。ベースがあり、臨時的に変更するのはわかりませんが、頻繁に変更する場合は、服用方法も処方箋に記入していただきたいという気持ちになりました。実際、カルテには記入されているのかもしれませんが、病院、クリニックがどのようにチェックしているのか教えていただきたいです。
9. 間質性肺炎、心筋梗塞でステロイド<sup>〃</sup>、免疫抑制剤や循環器系薬剤を使用中の患者さま。乳がんの術前治療が開始となり、アロマターゼ阻害剤と triweekly のハーセプチン開始、心毒性や間質性肺炎を気にしてかとは思いますが、ハーセプチンは 4 週毎に点滴治療をおこなっています。こういった減量は一般的に必要でしょうか？病院へ問い合わせをかけましたが、十分な説明もなかったので、質問させていただきます。上記内容に関連し、免疫系の疾患などでステロイド<sup>〃</sup> や免疫抑制剤などを使い治療をしている場合、オンコロジー領域の治療をするときにこういったことに気を付ければよいでしょうか？  
ブレドニン錠 5mg 1 錠 1×  
ネオーラルカプセル 50mg 2 カプセル 2×

10. 乳がん患者：83 歳、初発。術後補助療法として、ティーエスワンが処方されたのですが、ティーエスワンは一般的には再発治療に使用されると思います。術後補助療法としてティーエスワンを使用するケースもありますか？  
添付文書に記載されていない使い方がオンコロジー領域では多いと思いますが、承認外の用法用量で広く使用されている薬剤などがわかりやすい資料があるといいのですが。
11. ノルバデックスは添付文書上は、1 日 20～40mg と書かれていますが、40mg で処方されているケースを知りません。どのような場合に 40mg での処方がされますか？
12. 告知されていない方って今でもいますか？
13. エビデンスがあれば抗がん剤を適応外でも使用していますか？
14. 患者さん対象に配布されている冊子について  
製薬会社さんから提供されているもので、何かお勧めはありますか？また、施設で作成されて指導されていることはありますか？
15. ゾラデックスとリュープリンの使い分けに、何か意図はありますか？
16. 抗がん剤の副作用対策で、保険診療外の物で取り扱っているもの、勧めているものはありますか？
17. 味覚障害の対策には、どんなことが行われていますか？
18. 乳がん、再発治療の選択順はありますか？
19. 抗がん剤の効果と副作用に相関や関連はありますか？
20. 抗がん剤治療は、いつまで続けるのですか？回数に限度はありますか？
21. 抗がん剤治療の効果判定は、いつ、どのような手段で行われますか？